

公衆衛生看護方法論

単位数（時間数）：2 単位（60 時間） 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：教授・鈴木るり子

科目担当者（職位・氏名）：講師・松岡真紀子、助教・石田知世、助教・磯島実奈

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽
科目記号：83

■ 授業概要

公衆衛生看護活動に特徴的な援助方法として個人・家族のセルフケア能力を高めるための理論と援助方法、および特定の集団に特徴的な問題を解決するための理論と援助方法について教授する。また、他職種・他機関との協働、地域のケアシステムの構築における看護職の役割と機能を学び、地域ニーズに対応した看護活動の展開と実践方法について教授する。

■ 到達目標

1. 公衆衛生看護実践と技術の特徴について説明できる。
2. 地域アセスメントの目的、理論、方法、分析について説明できる。
3. 地域全体への公衆衛生看護技術について説明できる。
4. 個人・家族・集団・組織への公衆衛生看護技術について説明できる。

■ 教育内容

個人・家族・集団・組織の支援

■ キーワード

個人・家族・地域・組織のアセスメント、住民との協働、地域診断（アセスメント）、地区踏査、家庭訪問、健康相談、健康診査、健康教育、地域組織、地域ケアシステム

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	ガイダンス 公衆衛生看護実践における方法/技術	ガイダンス 専門職である保健師にとっての技術 公衆衛生看護実践の目的と方法/技術	鈴木
2	公衆衛生看護の基盤となる理論①	1. 保健行動理論と保健指導で活用できる理論 2. 保健行動・健康行動を生み出す「力」	松岡
3	公衆衛生看護の基盤となる理論②	地域活動の理論・方法	松岡
4	公衆衛生看護の記録	公衆衛生看護の記録	石田
5	対人支援の基本	1. 対人支援の基本 2. 対人支援の技術 3. ケースマネジメント 4. ジェノグラム・エコマップ	石田
6	健康相談・健康診査	1. 健康相談の方法とその特徴 2. 健康相談の展開方法と支援者の基本姿勢 3. 健康診査の目的・対象・方法 4. 健康診査における保健指導 5. 健康診査の評価	石田
7	家庭訪問	1. 保健師による家庭訪問、その対象 2. 家庭訪問のプロセス 3. 家庭訪問に必要な技術と保健師の役割	石田
8	地域組織の支援①	1. 地域組織活動とは 2. 地域組織活動の歴史	磯島
9	地域組織の支援②	1. 地域組織活動に活用できる概念・理論・ツール 2. 地域組織に対する支援	松岡
10	地域ケアシステム	1. 地域ケアシステムの構築 2. 地域ケアシステムの評価	松岡

11	地域診断（アセスメント）①	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域診断（アセスメント）の定義、過程 2. 活用できるモデル 3. コミュニティ・アズ・パートナーモデル 4. プリシード・プロシードモデル 5. 地区踏査 6. PDCA サイクル 	石田
12	地域診断（アセスメント）②	データ収集源とデータ分析の方法 QGIS	石田
13	地域診断（アセスメント）③	データ分析から健康課題の抽出、明確化、優先順位の方法	石田
14	地域診断（アセスメント）④	演習：指定の地域についてアセスメントし健康課題を抽出する指定の地域の地区踏査計画を立てる	共同
15	地域診断（アセスメント）⑤	演習：指定の地域の地区踏査を実施する	共同
16	地域診断（アセスメント）⑥	演習：健康課題の抽出・明確化・優先順位	共同
17	地域診断（アセスメント）⑦	演習：健康課題の抽出・明確化・優先順位	共同
18	公衆衛生看護と ICT	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公衆衛生看護における ICT 2. ICT 利用の注意点 ICT/DX/Society5.0	石田
19	特定保健指導の実際①	（演習）事例について、保健指導計画立案	共同
20	特定保健指導の実際②	（演習）保健師役と対象者役になり作成した保健指導計画をもとに保健指導場面のロールプレイを実施	共同
21	乳幼児健康診査・発達評価の実際①	（講義）乳幼児健康診査における発達評価 （演習）1歳6か月児・3歳児健康診査事例について、問診計画を作成	共同
22	乳幼児健康診査・発達評価の実際②	同上（演習）	共同
23	乳幼児健康診査・発達評価の実際③	（演習）健康診査場面の保健師役と親役になり、作成した問診計画を基に問診のロールプレイを実施	共同

24	乳幼児健康診査・発達評価の実際④	同上（演習）	共同
25	家庭訪問の実際①	（講義）訪問場面での測定技術 （演習）与えられた母子（親子）家庭訪問事例についてアセスメントし、訪問計画及び、指導媒体の作成	共同
26	家庭訪問の実際②	同上（演習）	共同
27	家庭訪問の実際③	訪問計画をもとに保健師役と母親役になり家庭訪問場面のロールプレイを実施 実施後、支援内容の記録・整理	共同
28	家庭訪問の実際④	同上（演習）	共同
29	健康教育の実際①	（講義）健康教育の展開 （演習）健康教育計画立案	石田 共同
30	健康教育の実際②	（演習）健康教育計画立案	共同

■ 履修条件

公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅱの単位を取得していること。

■ 成績評価方法

試験 60%、グループワーク 40%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

質問に対して、授業内で解説するか個別メールで解答する。レポートに対して授業内で視点等について解説する。

■ 教科書

- ・中村裕美子他編（2023）『標準保健師講座 2 公衆衛生看護技術 第5版』医学書院
- ・中谷芳美他編（2024）『標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動 第5版』医学書院
- ・井伊久美子他編（2024）『新版 保健師業務要覧 第4版 2024年版』日本看護協会出版会
- ・厚生労働統計協会（2024）『国民衛生の動向 2024/2025』厚生労働統計協会

■ 参考書・参考資料等

- ・標美奈子他編（2022）『標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 第6版』医学書院
- ・村嶋幸代他編（2022）『保健学講座 1 公衆衛生看護学概論』メヂカルフレンド社
- ・岸恵美子他編（2022）『保健学講座 第2巻 公衆衛生看護支援技術』メヂカルフレンド社
- ・村嶋幸代他編（2022）『保健学講座 第3巻 公衆衛生看護活動展開論』メヂカルフレンド社
- ・佐伯和子他編（2022）『公衆衛生看護学テキスト 第2巻 公衆衛生看護の方法と技術 第2版』医歯薬出版株式会社
- ・岡本玲子他編（2022）『公衆衛生看護学テキスト 第3巻 公衆衛生看護活動論Ⅰ 第2版』医歯薬出版株式会社
- ・勝又浜子他編（2024）『「看護法令要覧 令和6年版」』日本看護協会出版会
- ・藤内修二他編（2021）『標準保健師講座別巻 1 保健医療福祉行政論 第5版』医学書院

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前・事後としてそれぞれ90分程度必要。授業前に教科書の授業範囲部分を読み、授業中に疑問を解決できるよう準備すること。授業前後の学習は授業にて指示する。

■ 担当教員からのメッセージ

事前学習・復習をして講義を受けること。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

鈴木：研究室 12、rsuzuki★iwate-uhms.ac.jp、各授業日 18:00 まで
(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師、保健師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

保健師の実務経験を活かし、公衆衛生看護に関する専門的で実務的な講義を行っています。講義時間内にディスカッションの時間を設けるので、積極的な参加を望みます。